

新宮山彦ぐるーぷ 第1813回

行仙宿・作業体験研修(新入社員教育の一環)

◇実施日：平成27年5月30日(土)～31日(日)

◇参加者：川島 功、沖崎吉信、前田 正、大江加予子、

畑林清子、青木宏充、梶野照雄(日帰り) 7名

(株)齊藤鐵工所；澄田将一、石井公晟、岡本直樹、

齊藤 維、藤井藤二。三井幹雄。6名

(奥駈登山者；清水俊也・岩瀬健一)

5月30日(土) 天候：晴

新宮発7時発。池原スポーツ公園でトイレ休憩していると、大阪・岬町の研修所を5時半に発った(株)齊藤鐵工所の6名が2台の乗用車で到着。二回目の齊藤工場長、三井氏と再会の挨拶をする。

池神社に立寄り安全祈願の参拝、明神池の鯉にエサをやると一緒に水面に口をバクつかせて集まるさまに気持が和む。

登山口に着き歓迎の挨拶と当会参加者紹介。食料、ビール3箱、板材等を手分けして、背負子に各自10～15kg弱の荷を指導しながら付ける。そこに梶野車が到着。

登山口の階段は、昨日青木氏と知人で滑り止めのエキスパンダメタルがスポット溶接されていた。梶野氏も昨日行仙宿のLED電灯増設と玄関の自作踏み台の荷上げに来られ、今日は作業体験研修時に、行仙岳北面の倒伏石柱道標復旧作業があることから、石柱道標倒れ防止のアルミアングルを持参して参集して下さる。

先日、階段で滑り落ち事故発生と直ぐに汗をかくので薄着で登

る様に注意喚起する。

日差しが強いが、昨夜の冷え込みと爽やかな風があり心地良い。

不慣れた荷担ぎで喘ぎながら第二ベンチへ。ここは木陰で風が通り、しばらくの休憩で英気が取り戻せる



池神社にて



登山口・荷づくり中



第二ベンチで休憩！

行者堂に幟を2本立て、全員揃った時点で齊藤鐵工所参加者の自己紹介後、作業安全の般若心経を唱和する。

水汲みは、前田・川島と(株)齊藤鐵工所の初参加の石井、澄田、岡本、藤井氏が降りる。水場の水は溜り水で、浮いたゴミが入らない様に注意して、どうにか50ℓを汲む事が出来た。最後の前田氏に石・落葉等の底浚えをして貰う。梶野氏は、注連縄の右支点になっていたボルトが腐食で抜けた話を聞き、早速インパクトドライバで、岩に穴を開け支点ボルトの再設置をして下さる。

その間、大江、畑林、沖崎氏は食料仕分けと食事準備、齊藤、三井さんは木杭造り。

前田・梶野氏が、まだ水場から戻っていないが昼食。

昼食も略終わった頃に、吉野から奥駈中の2名が本日行仙宿に泊まると入って来る。

ビールを飲むかと聞くと欲しくと欲しいとの事、昼から行仙岳北面の道普請作業には参加するそうだ。久しぶりのビールに本当に美味しく、うに、ゆっくり喉越しを味わっている。



奥駈中の二人(中央)

昼食中のくつろぎ

昼食後、沖崎氏が少し遅れるとのことで、奥駈中の二人(清水・岩瀬君)の加勢で総勢11名が、段差6段の木杭・棧木と倒伏石柱復旧に使うトンガ2・大ハンマー2、番線・シノ・ヨキ、鋸等を1斗缶に入れ、背負子や手に持って、天候下り気味との事から、南奥駈道の山並みを眺望するために行仙岳山頂へ。

捲き道分岐に下り、斉藤鐵工所・新入社員班は、前田氏の指導の下で、ブナ倒伏跡のむき出し斜面に段差設置(5段)とその下の2段を改修する。尚、奥駈中の二人も一時加勢。

斉藤鐵工所・役職班は、梶野・川島の下で倒伏石柱道標の復旧作業をする。穴を少し深く掘り、小さい石を集めて敷き突き固める。掘った穴に立てる為に石柱に横梶子木を紐で縛り、この梶子木を左右で持ち、4人で立ち上げる。梶野氏作成のアルミアングルで石柱を挟み、そのアングルを斜面に接する迄下げ石と土を入れて固め、アングルが固定される様に長いボルトを差込み、土と

石を入れ突き固めた。



行仙岳山頂にて

ブナ倒伏跡に段差設置 段差を番線で固定中

沖崎氏も加わり、石柱道標前の捲き道が、作業で崩れかけたので、径12cm程のヒメシヤラ倒木を藤井氏に切って頂き、3人で運び横棧木として杭止めするが、土が深く杭の効きが悪く、後日長い杭を打つことにする。

14時半前に、行仙岳北面の奥駈道の改修を終え記念撮影。



小石を敷き突き固め

垂直確認し固める

復旧石柱道標・作業終了!

帰路昨年、斉藤鐵工所の方が、行仙宿上の尾根へ引揚げた間伐材は未だ皮付きで積まれているため、今は素手で皮を剥く事が出来る事から、約20本の間伐材の皮を剥く作業をする。遅れて登

って来られた青木氏も合流する。



間伐材の皮を剥く

金剛童子石像説明の沖崎氏

作業後に、八大金剛童子石像をこれまで6体を見つけた、沖崎氏から説明して貰う。

行仙宿に戻りコーヒータイム後、薪割り、杭材造り、杭材を先付けして木杭造り作業をする。腰つきが悪い、ハンマーの柄を長めに持って自重で割れ！等々の教えや模範示しながら作業を進め16時20分に作業終了。



薪・杭作り

乾杯音頭の齊藤工場長

着替之後、川島より管理棟内で建築のいきさつ、その後行仙宿で新宮山彦ぐるーぶの歩み、南奥駈道再興に取組まれた前田勇一

氏から玉岡前代表へ引継がれ、3年かけた千日刈峰行で歩ける様になったが、玉置山と持経宿間に山小屋がないと初心者は歩けないとの指摘もあり、歩いて貰わなければ藪山に戻ることから小屋建設を決意された。

7つの課題があったが、水場は實利行者のお陰で「命の水場」が見つかり、いずれの課題も克服して建築出来た。この事は、当HPで紹介掲載されているので見て頂きたいと拙い話を終える。

(配布資料別紙)

懇親会の前に工場長より作業体験研修に多額な御礼を頂いた。齊藤工場長の乾杯の音頭でバーベキューによる懇親会が始まる。

食台を30cm高くしたので、バーベキューコンロの脚が長く、短くして使用しているとコンロ下から煙が出て来る。落ちた肉油が燃えているのだから納得、しばらくすると三井さんベニヤ板の鍋敷きが燃えていると指摘、コンロを除けると炭化が進んでいて、幸い発火前で、タオルを被せ、水をかけ消すハプニングがあった。18時前に梶野氏下山。



歌と談笑で盛り上げる懇親会

東京都板橋区在住の二人は、明日も停滞するとの事。先般、余

りにもゆったりと奥駈中の若者が、家族から搜索願いが出て大騒ぎになったが、君達はその心配ないかと・・・大丈夫との事。

歌と談笑が尽きず9時前に終了し、就寝毛布の使い方を説明し、それぞれ寝る場所を確保する。

大江、畑林さんは、しばらく食器等を後片付けし管理棟で就寝、遅くまでご苦労さんでした。

青木氏は清水君等としばらくストロープを囲んで二次会！

5月31日(日) 曇り後晴

夜半には雨となるが明け方には止んで東そして西空も明るくなる。雨水貯槽の水位は、僅かに増えた程度で、この程度の雨では水場の回復は望めない。

夜明けのコーヒーを味わい、前田氏ロープの結び方を教える。朝食は豌豆ご飯、鰯・鰯の丸干し、味噌汁にバーベキューで残った肉の野菜炒めが追加され食べ切れない。東京都の二人は、今日も停滞して、明日本宮を目指すとの事から残飯整理を兼ね食べて貰う事にする。この安心感で青木氏と昨夜応対した一人は、二日酔いで食が進まない。

朝食後、新人班は沖崎・前田の指導の下で、昨日皮を剥いた間伐材をロープで引いたり肩に担いで、行仙宿北側鞍部へ運び下ろす作業をする。約15本下ろした。

役職班は川島と水場の段差新設と補修へ。藤井さんは、昔やった事のあるシノで番線を括り締める手捌きは、さすがである。

8時半過ぎに各班とも作業が終了。

天気回復した事もあり、登山口の根木氏調達の電柱廃材を水場

上の置場に上げる作業をして研修終了とする作業変更を伝え、下山準備をして頂く。登山口の作業なので我々も作業後、行仙宿に戻り昼食せずに一緒に下山する。

作業が未だ無理な青木氏は、昼食後ゆっくり下山との事なので管理棟の戸締りをお願いする。大江、畑林さんは、後片付け・整理のため遅れて下山して頂く。

行者堂前で記念撮影後9時20分頃に下山する。

二日酔い覚まし？の清水、岩瀬君も手伝いに下山する。二人は当面会員扱いになる。



水場の段差新設

斉藤鐵工所の方々

下山前の記念撮影

登山口に荷を置き、総勢11名で電柱廃材を水場上の材置場へ運搬する。

担ぐ者、最後は手渡しで作業が終了する。作業は頭数があると本当に作業が捗る。材置場のシート補強とロープ結束を次ぎの機会にする事にする。

清水、岩瀬君は行仙宿へ戻る、皆に明日本宮迄無事行けよ、頑張り！等の声をかけられている。

作業体験研修の奥駈道道普請は、無事終了し、奥駈をされる行

者・登山者の助けになったと御礼と再会の握手後、帰路が遠い齊藤鐵工所の車を見送り、早目の帰宅になる。



水場上の材置場への材運搬作業

無事作業終了！

行動タイム

5月30日(土) 晴

新宮7:00→8:15池原スポーツ公園(株)齊藤鐵工所合流8:20)8:30→
8:40池神社8:50→9:20登山口9:35→10:00第二ベンチ→10:25行
仙宿10:45→水汲み→11:25行仙宿11:35(昼食)→行仙宿12:45
→13:10行仙岳→作業→巻き道道分岐14:30→14:45間伐材皮剥き
15:00→15:10行仙宿(休憩)15:35→薪造り等→16:20着替え→
16:45お話し17:15→17:20懇親会20:45→21:30就寝

5月31日(日)曇り後晴

起床5:30→6:40朝食→7:30作業→8:40行仙宿9:20→9:55登山口
→9:55材運搬10:25→登山口帰宅(株)齊藤鐵工所下山；
10:30)10:40→12:15新宮。

寄贈

- ・齊藤鐵工所；御礼10万円+缶ビール1箱。
- ・山上皓一郎；缶ビール1箱。
- ・大江加予子・川島 功；食材(漬物以外)。
- ・大川酒店(沖崎宅)；猪肉550g。
- ・青木宏充；登山口階段の滑り止め資材と設置費用。
- ・梶野照雄；LED電灯・配線+玄関踏台+石柱固定アングル。

(記 川島)

行事事計報告；沖崎吉信

収入		収出			
	金額	科目	金額		
齊藤鐵工所	100,000	食材	肉(3K)	17,820	
			干物・ハム	1,857	
			野菜・漬物	4,304	
				缶ビール1箱・お茶・コーラー	4,800
				昼弁当・お茶(6)	5,237
				車代(4台分)	16,000
				外(氷代)	498
	100,000		50,516		